

皆さんの意見を
反映させる
市議会を
傍聴しましょう

ひの 市議会だより

市議会だより 第149号
平成11(1999)年11月18日
発行日 野市議会
住所 〒191-8686 日野市神明1-12-1
電話 (042) 585-1111
内線 601 ~ 605

平成11年
第3回定例会

平成10年度決算を認定



スポーツ・レクリエーションフェスティバル
(10月10日、市民の森スポーツ公園にて)

平成11年第3回定例会は、9月3日から27日までの25日間にわたり開かれ、市長提出議案32件、議員提出議案5件、請願・陳情24件が審議されました(審議結果は6頁に掲載)。

今定例会では、一般会計決算及び特別会計決算の2つの特別委員会が設置され平成10年度決算の審査が行われました。審査の結果、7つの特別会計決算は全員一致で認定されましたが、一般会計決算については賛否が分かれ、採決の結果、挙手多数で認定されました。

その他の市長提出議案については、「日野市環境基本計画及び日野市環境配慮指針」などが全員一致で原案のとおり可決・同意されましたが、使用料の改正を主な内容とする「日野市市民農園条例の一部を改正する条例の制定」など6議案については賛否が分かれ、採決を行った結果、挙手多数で原案のとおり可決されました。また、「日野市立図書館設置条例の一部を改正する条例の制定」は、更に調査・研究が必要のため継続審査となりました。

議員提出議案については、提出された議案5件のうち2件が原案のとおり可決され、意見書が関係機関に送付されました。

5日間にわたり行われた一般質問では、17名の議員から32件の質問が出されました。

平成11年第3回定例会の日程

9月3日	本会議	会期の決定、行政報告、諸般の報告 議案上程、請願上程
6日	本会議	(一般質問)
9日	本会議	(一般質問、請願上程)
10日	本会議	(一般質問、請願上程)
13日	常任委員会	企画総務委員会 生活文教委員会
14日	常任委員会	福祉保健委員会 まちづくり建設委員会
16日	一般会計決算特別委員会	
20日	特別会計決算特別委員会	
21日	特別委員会	
22日	本会議	(審査報告、議案上程、請願上程)
27日	本会議	(審査報告、議案上程、請願上程)

主な議案と内容

環境基本計画及び環境配慮指針

環境基本計画は、平成7年に直接請求により制定された「日野市環境基本条例」に基づき、公募による市民100名からなるワーキングチームが中心となり作成され、現在及び将来にわたって、市民が健康で安全かつ快適な生活を営む上で必要とする良好な環境を確保するための方向性を示すものです。計画は、「計画策定の背景」「計画の基本的考え方」「施策の」

環境基本計画「施策の基本的方向」

私たちの継承した自然環境を保全し、
次の世代に引き継ごう

- くらし：私たちが責任をもつ、ゆとりとうるおいのある環境
- 大気：大気汚染のない、循環型、省エネルギーのまち
- 水：河川、用水、湧水、大地、丘陵地をつなぐ「水」を活かした回廊づくり
- 緑：人と自然が共に生きる、うるおいのある緑豊かなまち
- リサイクル：資源化率90%を目指すゴミゼロ社会の実現

市民農園条例の一部改正

《原案可決》
市民農園(8農園、508区画)の使用料を改正し、1区画(概ね20㎡)当たり年額2,400円(現行2,200円)とするものです。

市立乗鞍高原日野山荘設置条例の一部改正

《原案可決》
市立乗鞍高原日野山荘の使用料を改正し、市民または市内在勤・在学者については、大人3,500円、子供1,500円、幼児1,000円とする。また、市内在勤・在学者の同居家族及び市外居住者の使用料と休憩料を新たに設定するなど、使用者の範囲を見直しして使用料の増収を図るものです。

下水道条例の一部改正

《原案可決》
市立八ヶ岳高原大成荘の使用料を改正し、団体宿泊施設については、市民または市内在勤・在学者は、大人2,000円、子供1,000円、幼児500円に、一般宿泊施設については、同じく大人3,500円、子供1,500円、幼児1,000円とする。また、市内在勤・在学者の同居家族及び市外居住者の使用料と休憩料が新設されます。

平成11年度一般会計補正予算(第2号)

《原案可決》
歳入・歳出予算の総額にそれぞれ12億2,489万3,000円を追加し、47億789万3,000円とするものです。

主たる歳入としては、20年ぶりに普通地方交付税の交付団体となったため、10億6,774万6,000円が交付されます。歳出については、基金積立金6億3,000万円、栄町グループリビング改修工事3,406万円、中学校2校の校舎耐震診断委託料27万4,400円などが計上されました。

教育委員会委員の任命

《同意》
次の2名の方を教育委員会委員に任命することに同意がされました。

富田 和正(52歳)
日野市大字上田20-8
田口 直(55歳)
日野市豊田4-26-6

固定資産評価審査委員会委員の選任

《同意》
次の方を固定資産評価審査委員会委員に選任することに同意がされました。

杉山 一夫(57歳)
日野市百草614-1

平成 10 年度 会 計 別 決 算 額

区分		歳 入		歳 出	
		決 算 額	前年度比	決 算 額	前年度比
一 般 会 計		469億 983万円	0.8%	455億 42万円	△ 0.5%
特 別 会 計		337億1,104万円	△ 2.8%	327億 166万円	△ 1.8%
内 訳	国民健康保険	75億5,391万円	6.2%	75億3,116万円	8.3%
	土地区画整理事業	34億1,410万円	△23.0%	25億4,842万円	△28.9%
	下水道事業	66億5,445万円	△13.4%	63億5,120万円	△14.7%
	市立総合病院事業	46億7,064万円	10.0%	48億8,121万円	13.0%
	受託水道事業	22億2,369万円	△ 9.4%	22億2,369万円	△ 9.4%
	老人保健	91億4,357万円	5.2%	91億1,638万円	7.2%
	老人入院共済事業	5,068万円	16.4%	4,960万円	15.1%
総 合 計		806億2,087万円	△ 0.7%	782億 208万円	△ 1.1%

平成10年度決算の審査から

今定例会では、一般会計決算及び特別会計決算の2つの特別委員会が設置され、平成10年度予算が適正に執行されたか、また、財政運営は妥当であったかなどについて審査が行われました。

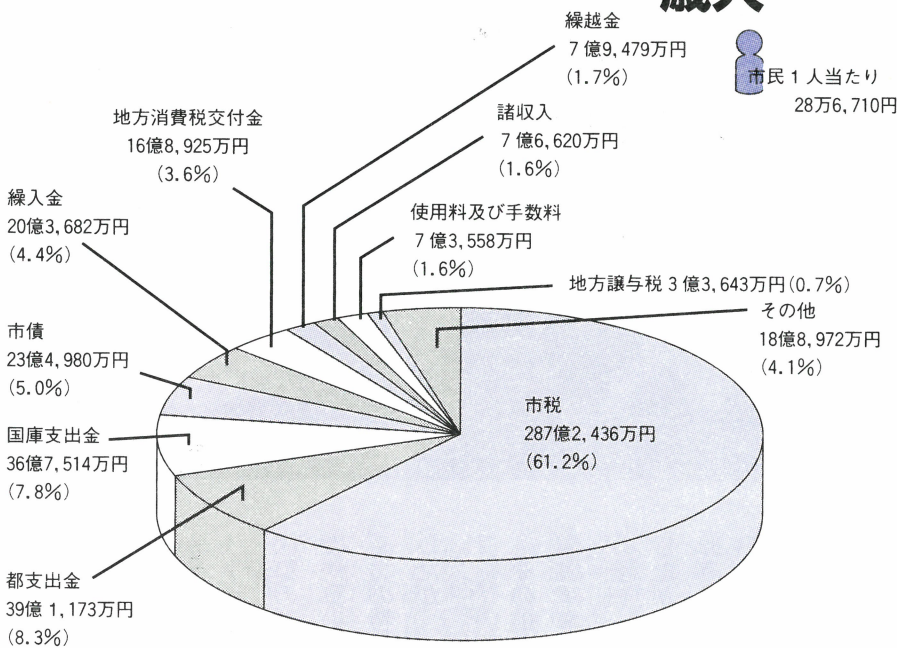
平成10年度一般会計の歳入決算額は、469億983万円で、前年度をわずかに上回り、3億6千939万円(0.8%)の増となりました。対する歳出決算額は、455億42万円で、前年度と比較すると2億4千523万円(0.5%)の減

平成10年度一般会計決算構成図

歳入 469億 983万円
歳出 455億 42万円

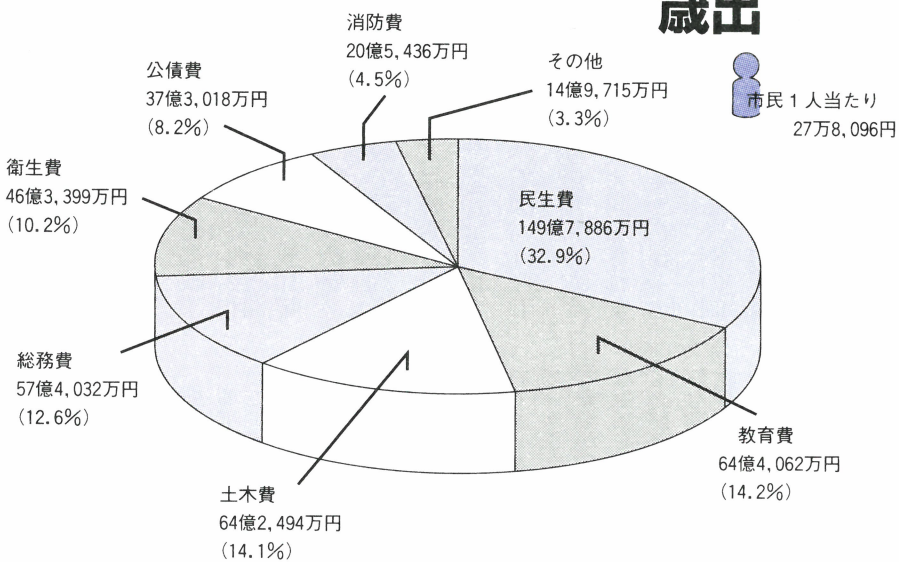
歳入

市民 1 人当たり
28万6,710円



歳出

市民 1 人当たり
27万8,096円



一般会計決算

平成10年度一般会計決算
特別委員会(委員長・菅原 直志委員、副委員長・秋山 薫委員)は、9月16日、17

となりました。しかし、歳入の約6割を占める市税が、前年度より11億円余り減収となっていることや、歳出面における減額についても市長等四役、管理職の期末手当カットなどの内部努力、経費節減による部分が大きく、依然、市の財政状況が厳しいことには変わりありません。

また、平成10年度の7つの特別会計における歳入・歳出の決算額は、別表のとおりです。

特別会計決算

平成10年度特別会計決算
特別委員会(委員長・宮沢 清子委員、副委員長・一ノ瀬隆委員)は、9月21日に開催され、正副委員長のもと、平成10年度特別会計決算について審査が行われました。

主な質疑は、次のとおりです。

- 市民税特別減税の影響額について
- 地方交付税交付団体になったことへの受け止め方とその原因について
- 予定価格、落札価格の事後公表の効果について
- 行政改革の折 助役の2人制について

審査は、国民健康保険、土地区画整理事業、下水道事業、受託水道事業、老人保健、老人入院共済事業、開始について(下水道事業)

日、20日の3日間にわたり開催され、正副委員長のもと、平成10年度一般会計決算について審査が行われました。

委員会では、計上予算に見合うだけの行政効果があつたか、会計経理上の過誤や不適切な支出がなかったか、財産の管理は適正に行われたかなどについて、延べ55人の委員から105件の質疑や行政への意見・提言・指摘が行われました。

主な質疑は、次のとおりです。

- 福祉給付事業の見直しについて
- 老人給食制度のあり方について
- 建設費、都市計画費の削減と今後の展望について
- 学級崩壊に対する市の施策及びその財源の捻出について

委員会最終日の20日、総括質疑ののち採決を行った結果、平成10年度一般会計決算は、「認定すべきもの」と決しました。

定例会最終日の27日、本会議において菅原委員長より審査報告が行われた後、6名の議員から意見が述べられ、今後の行政運営に反映されるよう求められました。その後、採決が行われ、平成10年度一般会計決算は、挙手多数により認定されました。

り審査報告が行われた後、6名の議員から意見が述べられ、今後の行政運営に反映されるよう求められました。その後、採決が行われ、平成10年度一般会計決算は、挙手多数により認定されました。

平成 10 年度の 主 な 施 策

【保健・福祉・医療】

- 痴呆性高齢者デイホーム事業 2,310万円
- 24時間巡回型ホームヘルプサービス事業 3,779万円

【教育・文化】

- 日野市民会館舞台照明設備工事 1億6,590万円
- 第八小学校校舎大規模改造・耐震補強工事 2億5,442万円

【環境・共生】

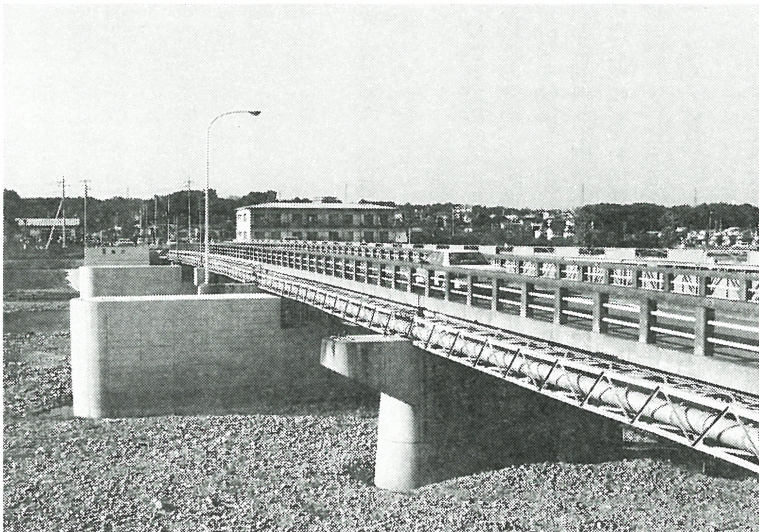
- 公共下水道事業 26億5,720万円
- 都市計画道路3・4・14号線橋梁(一番橋)工事 2億5,882万円
- ごみ焼却施設ダイオキシン削減対策工事 6,752万円

【産業振興】

- 中小企業事業資金融資斡旋 7,127万円

【市民参画】

- 環境基本計画・環境配慮指針策定 1,422万円



○都市計画に基き、架けかえ工事の進む一番橋。

平成10年度一般会計決算に対する 各会派の総括意見

平成10年度一般会計決算に対する各会派の意見表明は、9月27日に本会議場において行われました。各会派の意見(要旨)を紹介します。

民
自
ラ
ブ
賛
成

支出削減と市民要望に応えた事業展開と
更に聖域を設けない行財政改革を要望する

市民参画のもと、的確に執行された平成10年度決算について、認定の立場で意見を申し上げます。

本決算は、良識ある市民の最善の選択により誕生した保守中道市民派の馬場市政により初めて編成された予算に対する決算です。

前市長の独善性が今日の財政破綻を招きました。市財政の根源をなす税収がマインナスに転ずる中、土地

画整理事業の見直しなど、種々の支出削減の施策と市民要望に応えた事業展開が図られました。

総務関係では、ホームペー

中学校へのパソコンの配置など、評価したいと思えます。そのほかにも、新たに7組の結成を見た自主防災組織育成事業についても評価します。

今後も日野市の将来を見据え、16万人有余の市民全体の幸せを考え、市民参画のもと決断ある行政運営を図ること、そして、聖域を設けず、また、過去の悪しき慣行にとらわれることなく行財政改革を進めていた

日本共産
市 議 団
反 対

市民に我慢を強いる不適切な支出を是正する
姿勢がみられず、決算の認定に反対する

決算不認定の立場から、意見を申し上げます。

最初に、認定できない理由について述べたいと思

以上の理由で、日本共産党市議団としては、98年度決算の認定に反対するものであります。

まず、日野駅前の防災環境型公衆トイレについては、工事費用や契約の経過が不明朗です。並びに、市立病院建設に関わる入札問題への対応や痴呆性デパートの委託料の使い方についても認めたいものがある

滞納者を増やすなど、結局市財政にも打撃を与えるものです。また、給食の民間委託については、現状の方針は経費削減のみが目的であり、これまで行政と市民とで蓄積してきたものを台無しにするものです。

認定の立場から意見を申し上げます。

まず、3日間の審議の中から幾つかの点についての評価をしておきます。

民生費と教育費について、前市政の予算フレームが引き継がれたが、市民要望に沿った新たな事業展開がなされた。特に、高齢者福祉の分野での在宅介護支援センター事業など、高齢者を支える社会的

条件整備としての積極的な取り組み、リサイクル行政分野での、不燃物ダストボックスわきのびん回収事業などは評価するところ

最後に、行政のリーダーとしての市長へ、自治体が21世紀に向け社会的条件の整備とどう正面から向き合うかを問い、真に民主的な市民のリーダーとなれることを求め、意見いたします。

公 明 党
賛 成

基金の取り崩しと起債に依存した財政運営。
危機的状況下での予算執行の努力に敬意

平成10年度一般会計決算を認定する立場から意見を申し上げます。

円が地方債、要するに借金で賄われています。土木関係では、一番橋下部工事費

平成10年は長期的な不況を反映して、市税全体で11億5千144万円の減収になりました。さらに、土地区画整理事業の保留地処分金や収益事業の減収などで諸収入が8億円の減となる見込みもありました。

この財源不足を補うために、基金20億円の取り崩し

具体化できなかったが、馬場市長のもとに実現した事例があります。例えば、在宅介護支援センターが必死の努力により設置されました。危機的財政状況の中で予算執行に努力してきた姿勢を高く評価します。

今回、私どもの会派で予算書及び補正予算と決算書の全項目にわたって比較調査を行った結果、見えてきた二つの問題点を指摘したいと思

まず一点目は、予算書や補正予算に記載されている項目で決算書に出てこないものが多数見受けられること

この件については、最終的に当初予算を上回るという読み甘さ、市長杯の必要性について疑問が残ります。

二点目は、女性フォーラムでの講演会の記録が一部削除されていた点です。今回は、善意からのことと理解していますが、今後、市に都合の悪い内容の削除などが無いよう要望します。

民
市
ク
ラ
ブ
賛
成

前市長の将来展望のない財政運営が招いた
危機的状況を克服し、改革へ明確な姿勢を

平成10年度一般会計決算を認定する立場から意見を申し上げます。

平成10年度は近年にない厳しい状況下での行政運営でしたが、財政実態を公表するなど、市民に理解と協力を願った姿勢は評価に値します。

監査委員からの指摘のとおり、税収の落ち込み、経常収支比率の悪化、更には

行財政改革による代表的な事例を、また、十分改革を果たせなかったが、今後特に力を注ぎたい事項を示すことを要望しましたが、期待した回答はありませんでした。日頃の仕事の成果や今後の取り組みについて積極的に公言し、職員が一体となって行財政改革に取り組んでいることを市民に示すことが必要と考えます。

あおぞら
賛 成

市民要望に沿った事業展開は評価するが、
社教センター移転等には適切な行政対応を

認定の立場から意見を申し上げます。

条件整備としての積極的な取り組み、リサイクル行政分野での、不燃物ダストボックスわきのびん回収事業などは評価するところ

二つ目は、痴呆性高齢者デイホーム委託事業です。本件は契約内容と実態が異なり、とりわけ人件費について、常駐が前提であるにもかかわらず、常駐していないことが、明白な状況で支払われていたことは、行政責任が問われる事柄で

三番目に、社会教育センター移転問題に対する市の考え方についてです。病院建設という公的意義の大きい事業のためたとしても、退去してくれといわんばかりの手法は道義に欠けます。

流
清
ネ
ット
賛 成

新規事業の予算流用での実施を改めると
ともに、指摘事項の改善を要望する

今回、私どもの会派で予算書及び補正予算と決算書の全項目にわたって比較調査を行った結果、見えてきた二つの問題点を指摘したいと思

まず一点目は、予算書や補正予算に記載されている項目で決算書に出てこないものが多数見受けられること

この件については、最終的に当初予算を上回るという読み甘さ、市長杯の必要性について疑問が残ります。

二点目は、女性フォーラムでの講演会の記録が一部削除されていた点です。今回は、善意からのことと理解していますが、今後、市に都合の悪い内容の削除などが無いよう要望します。

また、新しい事業を流用の中で行われては、議会軽視と言わざるを得ません。

次に、予算の使われ方等について指摘です。

以上、指摘の点を踏まえ、整合性のとれた決算書の作成を要望し、認定の意見いたします。

一般質問

各定例会では、市政全般について一般質問が行われます。

今定例会では、9月6日から10日までの5日間にわたり行われ、17名の議員から32件の質問があり、行政側の対応をたしました。



菅原 直志

(清流・ネット)

行政改革大綱への提言
「実効制ある改革のために」

問1 行政改革について、事業別収支報告書の作成もふまえ、事業ごとに人員を把握し検討しているか。

答1 (企画部参事) 事務量の調査と合わせて削減を行っていく予定です。

問2 現状のコストを試算し、効率的な民間委託の実施を。答2 (企画部参事) できる限り

宮沢 清子

(公明党)

少子化社会を築くものにするために日野市の考えを問う(「少子化対策臨時特別交付金」等について)

問1 特例交付金でどのような取り組みを計画しているのか。

答1 (福祉保健部長) 保育園分園の設置等による待機児の解消、子育て支援センターの新設、幼稚園設備の整備など総合的に計画を作成しました。

問2 保育園の分園等で待機児童は解消されるのか。

答2 (福祉保健部長) 3園が分園を計画しており、規制緩和等を含め200名の枠の拡大が可能です。チャイルドシート着用で公的支援の確立を(来年4月からの義務化に向けて)

問 チャイルドシート普及のための啓発とレンタル制度等の創設について考えを問う。

答(建設部長) 秋の交通安全運動の重点項目になっており、大きな運動にしていこうと考えています。またレンタル制度については、交通安全協会で検討を始めています。

佐瀬 昭二郎

(あおぞら)

君が代伴奏「職務命令」と戒告処分問題について

問1 職務命令から処分決定に至る過程の情報を公開できない理由は何か。

答1 (教育長、学校教育部長) 行政情報は原則開示ですが個人情報については非開示としており、この問題は非開示と通知しました。

問2 市教育委員会は、職務命令から戒告処分に至る過程でどのように関与したのか。

竹ノ上 武俊

(日本共産党市議団)

市は、ますます高まる「ごみ有料化反対」の声に耳をかけたむけよ

問1 資源回収ステーションを増設すれば、ごみは減ると思うが。

答1 (環境共生部長) 問題点が多くあり、資源物についても戸別収集していくことに至りました。

問2 ごみ有料化で負担増を図るのは、行政としてなすべきことか。

中野 昭人

(日本共産党市議団)

『まちづくり』の主役は市民
市民の総意を集結して『まちづくり』プランを練り上げよう！

問 日野駅周辺地域の整備計画はコンサルタント業者を介した整備計画であり、市民参画のプランになっていないのではないか。

答(市長、まちづくり推進部長) 都市計画マスタープランに基づいた地域住民主導の整備計画を行います。

奥野 倫子

(日本共産党市議団)

市が責任をもって介護保障を行うために

問1 市は今の段階から居宅支援事業者及び居宅サービス事業者の指定をきちんと受けて、保険者の責任としてしっかりと体制を充実させる必要があるのではないか。

答1 (福祉保健部長) サービス事業者等の参入にある程度の見込みが立っていること、NPOや日社協等の育成という課題もあり、今の段階では指定を受ける必

出沼 恵美子

(清流・ネット)

君が代伴奏拒否の教員処分について問う

問1 今回の処分理由は、職務命令違反と信用失墜行為の2点と報道されたが、入学式はテープ演奏で滞りなく終了した。どこが信用失墜行為にあたるのか。

答1 (学校教育部長) 校長の職務命令に従わなかったこと自体、公務員として、信用失墜行為に該当すると考えます。

問2 信教の自由を侵し、歴史的

夏井 明男

(公明党)

行政改革について

問1 日野市行政改革大綱の経過と成果を問う。

答1 (企画部参事) 平成8年度から平成12年度までの5カ年を期限とし策定された大綱には7分野101項目が盛り込まれており、委託・廃止・削減・見直し・増収等74項目について実施しています。

問2 改革の必要性を問う。

答2 (企画部参事) 将来を見据えた行政運営を推進するために

小山 良悟

(自民クラブ)

PFI方式で、子育て支援センター、女性センター、教育センターの開設を提案

問 南部地域の病院建設候補地にPFI方式による建設を提案する。

答(市長) 提案を積極的に受け止め検討を進めていきます。

中谷 好幸

(日本共産党市議団)

自治体の本分は住民の福祉とくらしを守ること——高齢者や子どもに犠牲を押しつける馬場市長の「行革」を質す

問1 介護保険で市の負担は軽くなるのに福祉給付事業を削り、高齢者に我慢を押しつける、このやり方はおかしいのではないか。

答1 (市長) 市民の皆様の負担が大きくならないような仕組みを考えつつ、対応していきたいと思っています。

問1 中小業者に対する不況対策について問う。

答1 (市長、市民生活部長) 融資制度の活用のほか、中小企業金融安定化特別保障制度の認定作業を進めます。

問2 地域商店会活性化のため発行される、かわせみ商品券に対する支援策を問う。

答2 (市長、市民生活部長) 広報によるPR、情報提供の支援、購入利用など積極的に支援していきます。

戦争法(ガイドライン)関連法 容認では、憲法の平和原則と地方自治の原則は守れないと問う

問 政府からの協力要請などに際し、市民の安全、生活を優先する立場を貫けるのか。

答(市長) 全市民を守る立場で頑張ります。

名取 美佐子

(無会派)

ごみ減量化にむけて

問1 ごみ有料化に伴い、小型焼却炉によるごみの焼却や不法投棄等が発生する懸念があるが、これらによるダイオキシン発生等を規制する条例制定の必要性を問う。
答1 (環境共生部長) ごみの焼却に関しては、今後も自粛をお願いしている。不法投棄への対応は改革にあわせ検討を行います。
問2 ごみ減量やカラス対策に有効な電動式生ごみ処理機の購入に

に対する補助は、来年度予算でどの程度を想定しているか。
答2 (環境共生部長) 今年度は50台で抽選となりましたが、来年度は2、3千台と考えています。

介護サービス充実のために

問 介護保険条例制定にあたり、それが単なる手続条例に終わることなく、地域の特性に合わせた総合的な条例にしていけるべきと考え、市の考えはどうか。
答 (福祉保健部長) 指摘のとおりと考えます。今後も厚生省からの条例準則等を参考に地域性を生かした条例制定を検討します。

清水 登志子

(日本共産党市議団)

『君が代』伴奏強制、処分問題について

問1 今回の処分で、学校ではどのような混乱が起きているか。
答1 (学校教育部長) 教育公務員という職に対し信用を失墜させたことが、児童や保護者に不安と動揺があったと考えています。
問2 国旗・国歌の指導により、子どもたちの内心の自由を侵害することなく、学校生活が始められるための環境づくりをするようにと問

う。
答2 (教育長、学校教育部長) 指導基準に基づき、教育的範囲内で認められる指導をしていきます。

健康診断を健康学習の場に、地域に根ざした保健活動を

問 生活習慣病の予防のため、医療と福祉と保健の連携を図り、地域に合わせた活動を要望する。
答 (市長、福祉保健部長) 成人病健診の選択については経費上現状どおりの実施となります。高齢者の寝たきり予防等の事業により地域の保健活動を充実させていきたいと考えています。

板垣 正男

(日本共産党市議団)

市民生活に甚大な影響を及ぼす都の都民施策の大リストラ策の中止を求めよ!

問1 都の財政再建計画が日野市に与える影響について問う。
答1 (市長、企画部長) 見直し対象事業は事務事業、経常経費的なものは26事業、投資的経費は7事業です。
問2 市の考えを問う。
答2 (市長) 都へは強く意見具申を要望していきます。市民に

田原 茂

(公明党)

高齢者宅配給サービスやデイサービス事業を手懸けているボランティア組織に市として援助せよ!

問 高齢者宅配給サービスを手懸けているボランティア組織に調理場という形で地区センター等を貸与して、地域密着型のきめ細かい宅配サービスを展開できないか。また、介護保険で自立判定を受けた人の受け皿として期待のできるミニミニデイサービス事業を

執印 真智子

(清流・ネット)

男女平等基本条例の制定と、施策の展開について問う

問1 同条例は制定されるのか。
答1 (企画部長) 法律や都条例を視野に入れ、市民参画で取り組みたいと考えています。
問2 ドメスティックバイオレンスの調査の実施時期と庁内のセクハラ対策について問う。
答2 (企画部長) 調査は来年度に実施します。また、セクハラについては、職員に啓発のための冊

子を配付しました。
子どもオンブズはどのように検討されているか

問1 検討状況と市長部局との連携について問う。
答1 (学校教育部長) 立ち上げ後の教育現場での課題を整理するなど検討を始めました。また、準備段階で関わりを持っていくことを市長部局に申し入れました。
問2 スクールセクハラも含めて検討していくことを要望する。
答2 (教育長) 子どもの人権が損なわれることのないような制度にしたいと思っています。

佐藤 洋二

(無会派)

介護保険について

問 日野市の介護保険制度は非常に進んでいると思うが、来年度4月1日の制度開始に向けて市の考えを問う。
答 (市長、福祉保健部長) 介護保険制度がスムーズに導入できるよう努力します。
問 自由乗降できる区間のあるバスの自由乗降区間の運行について再度問う

森田 美津雄

(あおぞら)

介護保険事業の導入で、日野市の福祉水準を後退させてはならない

問 認定手続で対象外となる方たち、あるいは対象外となるサービスへの対応を市はどう考えるか。
答 (福祉保健部長) 介護保険の対象外でサービスを必要とする方は、市単独事業、ボランティア活動等の利用が考えられます。これらの事業の制度化にあたっては、各市の財政状況により格差が

書

見

意

今定例会で可決された意見書の要旨は次のとおりです。

国鉄の分割・民営化の過程における不採用など労使紛争の早期解決に関する意見書

国鉄が分割・民営化され、10年以上が経過しました。この間、北海道や九州を中心として、1047人の元国鉄職員がJR各社に採用されず、今日まで労使紛争が続いていることは憂慮すべき事態であります。JR各社・労働組合双方は、早期に問題を解決するよう、誠意をもって話し合うべきです。平成10年6月には都議会において同趣旨の意見書が全会一致で採択されました。また今年の5月には、参議院7会派による同趣旨の申し入れが政府に対して行われ、自民、自由両党の幹事長がJR不採用問題の解決を促すための談話を発表するなど、現状、新たな局面を迎えています。よって、政府に対し、関係当事者が話し合いの場に着くよう働きかけるなど国鉄の分割・民営化に伴う本労使紛争の早期解決に向けて努力するよう強く要請いたします。

【意見書提出先】 内閣総理大臣、運輸大臣、労働大臣、自治大臣

東京都の福祉施策の存続と充実を求める意見書

東京都が発表した「福祉施策の新たな展開」は、「新しい福祉の基本的方向を示す」ものとしながら、見るべき新しい施策は具体化されていません。その一方、乳幼児医療費助成、心身障害者福祉手当、老人医療費助成、特別養護老人ホームへの運営費加算など10事業名を見直す方針を明らかにし、すべての施策について事業の存続を含め根本的に見直しを行う」とした「財政再建プラン」においても、重点見直しの対象としています。よって、日野市議会は、次の事項を強く要望します。

1. 東京都が「福祉施策の新たな展開」で見直し事業とした福祉施策は現行制度の維持、拡充をはかることと、特別養護老人ホームへの運営費加算については、介護保険実施後も現行水準を維持すること。
2. 区市町村との合意のない一方的な見直しは絶対に行わないこと。

【意見書提出先】 東京都知事



市民文学展



川柳



中学校演劇祭

○10月上旬から市内各会場で開催された市民の文化・芸術の祭典「日野市民文化祭」期間中には、多数の市民の参加・参観がありました。

旭が丘二丁目13番地先から同40番地先までの、南北約500mの市道に歩道を設置せよ!

ごみ減量・リサイクルに対する市の方針の再検討を求める



請願・陳情の審査状況

今定例会では、請願・陳情24件が審査されました。
審査の状況は次のとおりです。

採 択

◎滝合地区への公共下水道
供用開始早期実現に関す
る陳情

【要旨】周辺地区で公共下
水道が着々と普及してい
く中、滝合地区への計画は
一向に進展していません。公
共下水道に統合されること
を目的に設置した合併浄化
槽は、20余年を経過したた
め老朽化し維持管理費がか
さむ一方です。一日も早い
供用実現を要望します。

【結論】全員一致の採択。

◎豊田駅の南北自由通路に
ある昇降階段にエスカレ
ーターが新設されるよう
要望する請願

【要旨】豊田駅の南北自由
通路の階段を利用する高齢
者が、手すりに掴まりなが
ら休み休み上り下りしてい
る姿を見かけます。この苦
しみを解消するため、早急
にエスカレーターを設置さ
れるようJR等の関係機関
に働きかけ、早期に実現す
ることを要望します。

不 採 択

◎「消費税の減税を求める
意見書」の提出を求める
陳情

【要旨】消費税は不況から
の立ち直りを困難にしてい
ます。当面、消費税率を3
%に戻すこと、食料品にか
かる消費税を非課税とする
ことを趣旨とする意見書の
提出を要望します。

【結論】賛成少数の不採択。

◎消費税率の減税を求める陳
情

【要旨】消費税は不況から
の立ち直りを困難にしてい
ます。当面、消費税率を3
%に戻すこと、食料品にか
かる消費税を非課税とする
ことを趣旨とする意見書の
提出を要望します。

【結論】賛成少数の不採択。

◎市立病院建て直しは、し
ばし待て！その他に関す
る陳情

【要旨】市立病院の建て直
しに20億円の巨費を投じる
必要はあるだろうか。通
勤・通学者が不便を感じ、
かつ危険にさらされている
日野駅の改良を優先するべ
きではないか。

【結論】賛成少数の不採択。

◎周辺事態法第9条に基づ
く地方公共団体の「協力」
を拒否することを求める
陳情

【要旨】周辺事態法第9条に基
づく戦争協力要請に対し、
市議会として拒否の決議
を求める陳情

【結論】賛成少数の不採択。

◎「一刻も早く30人学級の
実現を求める意見書」採
択を要求する請願

【要旨】子どもと教育をめ
ぐる深刻な事態が続いてお
り、「もっとクラスの人数を
減らしてほしい」という声
が広がっています。一刻も
早く30人学級を実現するよ
う要望します。

【結論】賛成少数の不採択。



日野市立第七幼稚園 運動会

○10月17日(日)に運動会が行われました。子ども達に負けず、お母さん達も元気いっぱいです。

市議会



第1回

■議会の役割■

議会の役割は、市の仕
事に関する議案を審議し
たり、市の仕事が正しく
適切に行われているかを
監視したりすることによ
って、市民の意思を市政
に反映させていくことに
あります。議会は、市民
の生活を豊かで潤いのある
ものにしていく大切な
役割を担っています。

役割を担っています。

■議会と市長■

地方公共団体には、団
体としての意思を決定す
る議会(議決機関)と、
その決定に基づき事業を
執行する団体の長(執行
機関)とがあります。両
者は市政を担う「車の両
輪」のような関係にあり、
調和と均衡を図りながら
公正な行政を維持し、市
民の意思を尊重したより
良い市政の実現を目指し
ています。

継 続

からの協力要請には協力し
ないことを議会として表明
することを要望します。

【結論】賛成少数の不採択。

◎「南部診療センター」の
建設促進を求める請願

◎ひの社会教育センター内
に図書館を存続すること
を求める請願

◎自治体と住民に犠牲を強
いる「東京都財政再建推
進プラン」に反対する意
見書の提出を求める陳情

◎私学助成の拡充を求める
意見書採択に関する陳情

◎無認可通所授産施設「日
野市虹の家」が必要とす
る活動の場の保障に関す
る請願

◎学校事務職員・栄養職員
の給与費半額国庫負担等
の義務教育費国庫負担制
度の堅持を求める陳情

◎青年の政治参加をひろげ
るための陳情

◎多摩平団地の空き家状態
解消を市にお願いする請
願

市長提出議案

今定例会で 議決した議案

- | | |
|------|--|
| 第42号 | 日野市環境基本計画及び日野市環境配慮指針
《原案可決》 |
| 第43号 | 平成11年度日野市一般会計補正予算(第1号)
の専決処分報告承認《承認》 |
| 第44号 | 平成10年度日野市一般会計決算の認定《認定》 |
| 第45号 | 平成10年度日野市国民健康保険特別会計決算の
認定《認定》 |
| 第46号 | 平成10年度日野市土地画整理事業特別会計決
算の認定《認定》 |
| 第47号 | 平成10年度日野市下水道事業特別会計決算の認
定《認定》 |
| 第48号 | 平成10年度日野市受託水道事業特別会計決算の
認定《認定》 |
| 第49号 | 平成10年度日野市老人保健特別会計決算の認定
《認定》 |
| 第50号 | 平成10年度日野市老人入院共済事業特別会計決
算の認定《認定》 |
| 第51号 | 平成10年度日野市立総合病院事業会計決算の認
定《認定》 |
| 第52号 | 平成10年度南多摩東部共立病院組合会計決算の
認定《認定》 |
| 第53号 | 日野市固定資産評価審査委員会条例の一部を改
正する条例の制定《原案可決》 |
| 第54号 | 日野市国民健康保険条例の一部を改正する条例
の制定《原案可決》 |
| 第55号 | 日野市市民農園条例の一部を改正する条例の制
定《原案可決》 |
| 第56号 | 日野市立乗鞍高原日野山荘設置条例の一部を改
正する条例の制定《原案可決》 |
| 第57号 | 日野市下水道条例の一部を改正する条例の制定
《原案可決》 |
| 第58号 | 日野市介護認定審査会の委員の定数を定める
条例の制定《原案可決》 |
| 第59号 | 日野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び
費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の
制定《原案可決》 |
| 第60号 | 日野市立幼稚園の保育料徴収条例の一部を改正
する条例の制定《原案可決》 |
| 第61号 | 日野市立八ヶ岳高原大成荘設置条例の一部を改
正する条例の制定《原案可決》 |
| 第62号 | 日野市体育施設条例の一部を改正する条例の制
定《原案可決》 |
| 第64号 | 平成11年度日野市一般会計補正予算(第2号) |

議員提出議案

- | | |
|------|---|
| 第65号 | 《原案可決》
平成11年度日野市土地画整理事業特別会計
補正予算(第1号)《原案可決》 |
| 第66号 | 平成11年度日野市下水道事業特別会計補正予算
(第1号)《原案可決》 |
| 第67号 | 平成11年度日野市老人保健特別会計補正予算
(第1号)《原案可決》 |
| 第68号 | 第一東光寺団地市営住宅建築工事(第一期
工事)請負契約の締結《原案可決》 |
| 第69号 | 日3・4・14号線橋梁(一番橋)上部工(その
1)工事請負契約の締結《原案可決》 |
| 第70号 | 日野市教育委員会委員の任命《同意》 |
| 第71号 | 日野市教育委員会委員の任命《同意》 |
| 第72号 | 日野市固定資産評価審査委員会委員の選任
《同意》 |
| 第73号 | 浅川左岸第五処理区分(11-1)工事請負契約
の締結《原案可決》 |
| 第12号 | 国鉄の分割・民営化の過程における不採用など
労使紛争の早期解決に関する意見書《原案可決》 |
| 第13号 | 東京都の福祉施策の存続と充実を求める意見書
《原案可決》 |
| 第14号 | 学校教育の現場で「日の丸」「君が代」を強制し
ないことを求める意見書《否決》 |
| 第15号 | 都市の農業を守るため、政府に相続税の大幅軽
減を求める意見書《否決》 |
| 第16号 | 一刻も早く30人学級の実現を求める意見書
《否決》 |

編集後記

今年の秋は、例年になく寒暖の差が激しく、皆さ
んのお身体の調子はいかがでしたか。
夏から秋にかけて、ハイジャック事件や臨界事故
など陽気は暖かきとも、気持ちは底冷えしてしま
い、そんな事件が相次ぎました。また、海外でも台湾の
大地震など、そこに暮らす人々に甚大な被害を与え
た事件や自然災害が頻発したことは、皆さんの記憶
にも新しいところだと思います。
さて、皆さんの「我が家の危機管理体制」はいか
がでしょうか。震災や洪水など、天災についてはも
ちろんですが、今年は忘れてはならない問題がもう
一つ。「2000年問題」です。内容については、以
前からのマスコミ報道等でご承知のことと思いますが、
その時が起るかは、誰もすべては把握して
いません。過敏になることはありませんが、こころは
ひとつ、お心置きな。